

第21回（平成24年度）助成事業応募要領

公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

[平成24年度応募要領]

1. 助成の趣旨

エネルギー資源と環境の制約の下で社会の持続的発展を図るためには、電気エネルギーの供給・利用技術、電気エネルギーに係る資源リサイクル技術分野の充実・強化が必要不可欠です。当財団では関西地域における大学等を中心とした同分野の研究活動等を継続的に支援してまいりました。

また、地球温暖化防止に向けた温室効果ガス排出量削減の必要性が益々高まっており、その解決策のひとつとして、電気エネルギー供給・利用関連技術分野のより一層の発展が望まれています。

こうした状況の下で、当財団はこれまでと同様に、同分野における基礎研究の更なる充実と産学連携を視野に入れた挑戦的応用研究の推進、研究者の育成、国際交流の促進等を図るため、研究に対する助成、国際交流活動に対する助成等を行います。

2. 対象分野

助成の趣旨に合った、電気・電子・情報・通信・土木・建築・機械・化学・バイオ・リサイクル・テクノロジーアセスメント等の幅広い分野を対象とします。

具体的な対象分野につきましては、過去に採択された研究助成件名を参考に添付しておりますので、ご参照願います。

3. 助成の種類

(1) 研究助成

助成の趣旨に合った研究分野に関する研究費の助成をします。

若手奨励研究（若手研究者による個人研究）と一般研究（研究者による個人研究または共同研究）の2区分があります。

(2) 国際交流活動助成

研究者海外渡航と海外研究者招聘の2区分があります。

研究者海外渡航は、助成の趣旨に合った研究分野に関する国際会議、研究発表会等で発表する際の海外渡航費の助成をします。

海外研究者招聘は、助成の趣旨に合った研究分野に関する国際会議等において研究論文の発表もしくは招待講演を行う海外研究者の渡航費および滞在費の助成をします。

(3) 研究成果の出版助成

助成の趣旨に合った研究分野に関する内外学術雑誌投稿料等の助成をします。

(4) 研究発表会等の開催助成

助成の趣旨に合った研究分野に関する研究発表会、シンポジウム、学会及び国際会議等の開催費用の一部を助成します。

4. 申込者の資格

申込者の資格及び推薦状の要否は次のとおりです。

なお、原則として、同一助成種類の連続した助成は致しません（前年度に助成をお受けになった方は、同じ種類の助成にはお申込みできません）。

助成種類		項目	応募資格(注1)			推薦状(注3)
			大学等に勤務する研究者(注2)	博士後期課程の大学院生	その他条件	
研究助成	若手奨励研究	○	—	40才以下(H25年3月31日現在)	要	
	一般研究	○	—	年齢制限なし	要	
国際交流活動助成	研究者海外渡航	○	○	40才以下(H25年3月31日現在)	要	
	海外研究者招聘	○	—	年齢制限なし 国際会議の招聘責任者	不要	
研究成果の出版助成		○	○	40才以下(H25年3月31日現在)	不要	
研究発表会等の開催助成		○	—	年齢制限なし	不要	

(注1) 主として関西地域の大学等。大学等とは、大学院、大学の学部、短期大学、高等専門学校、大学附置研究所、大学共同利用機関。

(注2) 常勤の方のみ(非常勤は対象外)。

(注3) 所属する学部長またはこれに準じる方の推薦。

5. 助成の規模など

(1) 研究助成

項目	区分	若手奨励研究	一般研究
1件あたりの年額		100万円以下	100～300万円程度
採択件数		18件程度	3件程度
申込締切日		平成24年8月31日(金)	
研究実施時期		平成25年4月から1年間	
贈呈時期		平成25年1月～3月の間に贈呈	

(2) 国際交流活動助成

項目	区分	研究者海外渡航(注1)	海外研究者招聘(注2)(注3)	
1件あたりの金額		10～30万円程度	50万円以下	
採択件数		20件程度	3件程度	
渡航又は招聘時期		平成24年4月から平成24年10月まで	平成24年4月から平成25年4月まで	平成24年10月から平成25年4月まで
申込締切日		平成24年2月29日(水)	平成24年7月31日(火)	平成24年7月31日(火)
贈呈時期		渡航1か月前		成果報告書受領後

(3) 研究成果の出版助成

論文掲載時期	次の期間に論文の学術雑誌掲載が決定または予定のもの	
	平成24年4月から 平成25年3月まで	平成24年10月から 平成25年3月まで
助成額、採択件数	※1件あたり10万円程度、4件程度	
申込締切日	平成24年2月29日(水)	平成24年7月31日(火)
贈呈時期	論文受理後	

(4) 研究発表会等の開催助成

開催時期	平成24年4月から 平成24年10月まで	平成24年10月から 平成25年3月まで
	1件あたり20～40万円程度、9件程度	
申込締切日	平成24年2月29日(水)	平成24年7月31日(火)
贈呈時期	原則として成果報告書(※)受領後	

注1)原則として、関西地域で開催される公開のものに限ります。

注2)※報告書および当財団から助成を受けた旨を周知したことを示すものをお送り下さい。

注3)開催までに助成金が必要な場合は事務局にご相談下さい。

注4)学会の年次大会、支部大会等は対象外です。

注5)この助成は、原則として同一団体、同一内容の発表会等に連続して助成しません(前年度にこの助成をお受けになった方および団体はお申込みできません)。

注6)本助成と(2)の「国際交流活動助成(海外研究者招聘)」とを重複して助成することはありません(助成はどちらか一方のみ)。

6. 選考方法

当財団の選考委員会において厳正かつ公平な審査を行い、決定いたします。結果は、申込者全員にご連絡いたします。

選考委員会は、下記委員により構成しております(敬称略、五十音順)。

西川 禎一(委員長)	京都大学名誉教授
村田 顯二(副委員長)	大阪府立大学名誉教授
北村 新三	神戸大学名誉教授
城野 政弘	大阪大学名誉教授
南 努	大阪府立大学名誉教授
村井 眞二	大阪大学名誉教授

7. 選考基準

選考は、下記の点を考慮し、総合的に評価します。

(1) 共通基準

- ・内容が当財団の趣旨と合致するもの。
- ・当財団の助成金が真に有意義な資金となるもの。

(2) 研究助成

- ・研究内容が基礎的であり、発展性が見込まれるもの。または研究内容が応用分野に及び、近く実用化が見込まれるもの。
- ・研究計画、研究手法が独創的、意欲的であるもの。
- ・研究計画、研究内容と助成金の使途との関係が明確で、整合性が認められるもの。

(3) 国際交流活動助成

- ・国際交流活動によって得られる成果、与える効果が大きいと期待できるもの。
- ・その他「研究助成」の選考基準に準じて総合的に評価します。

(4) 研究成果の出版助成

- ・「研究助成」の選考基準に準じて総合的に評価します。

(5) 研究発表会等の開催助成

- ・「研究助成」の選考基準に準じて総合的に評価します。

8. 留意事項

お申込に際して、下記事項をご了承いただいたものとします。

なお、当財団では、申請書類をお断りなく公表することは一切ありません。

(1) 共通

- ア. 助成金は、その目的達成のため最も有効にご活用願います。なお、研究等終了後の報告時には、についての記録と領収書(正)を添付願います。また、助成金採択通知以降の詳細な処理手続き等については、別途配布の「KRFの手引き」に基づき、確実な処理をお願いいたします。
- イ. 研究発表、論文の掲載等をされる場合は、当財団から助成を受けた旨を記載し、周知をお願いいたします。
- ウ. 成果の報告内容は、当財団の事業報告書、インターネットホームページなどに記載させていただくことがあります。
- エ. 助成額は、お申込額より減額されることがあります。
- オ. 申請書類提出後、所属機関ならびにメールアドレス等が変更となった場合は、その都度ご連絡願います。

(2) 研究助成

- ア. 助成金は、申込書に記載された項目で支出いただきます。
- イ. 助成した研究費の支出が適切でなかったり、研究計画を大きく変更又は途中で中止した場合等については、贈呈した助成金の返還を求めることがあります。
- ウ. 贈呈に際し、助成研究の計画について発表していただくことがあります。
- エ. 助成研究の結果については、研究終了後に簡単な報告書を提出していただきます。その報告書を国立情報学研究所のGeNii「研究課題・成果情報ポータル」および助成財団センターの「助成データベース」に登録いたします。
- オ. 助成期間終了後に助成研究に関するアンケートを行いますので、ご協力をお願いいたします。
- カ. 当財団の研究発表会および学会等で、研究成果の発表をお願いすることがあります。

(3) 国際交流活動助成

- ア. 国際会議、学会などでの研究発表、意見交換を主たる交流内容とするものは、発表論文が受理された場合、贈呈を取り消させていただきます。
- イ. 国際会議、学会などの開催が当初の計画より大幅に遅れる場合には贈呈を取り消させていただきます。

(4) 研究成果の出版助成

ア. 学術雑誌投稿論文が翌年度までに受理されなかった場合、贈呈を取り消させていただきます。

イ. 投稿論文については、別刷をご提出いただきます。

(5) 研究発表会等の開催助成

ア. 申請時に研究発表会等の予稿集、配布資料など概要がわかる資料をご提出いただきます。

イ. 研究発表会等が公開の場合は、当財団事務局長まで案内状等の関連資料をお送り願います。

なお、開催日時等申請時から変更があった場合は、その都度ご連絡願います。

ウ. 研究発表会等の成果については、終了後に簡単な報告書を提出していただきます。また、当財団の助成を受けたことの周知方法を示したプロシーディング、ポスター等を提出していただきます。

9. 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、1部を財団事務局まで、締切日必着にてご送付願います。

申込書は、所定の申込書又は所定の申込書様式と同一であれば、自作の申込書（白色無地）でもお申込み可能です（枚数および様式の変更は不可。枠の大きさ等多少の変動は構いません）。

10. 申込書の請求および送付先(問い合わせ先)

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル607号室

公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

TEL：(06)7506-9068 FAX：(06)7506-9069

<http://www.krf.or.jp> e-mail: info@krf.or.jp

(申込書の請求は、ホームページからできます。また、ご希望の方は、申込書(Word形式)をe-mailにて送信いたします。)

■当財団の研究助成金による研究成果は、国立情報学研究所のGeNii (NII学術コンテンツ・ポータル)内に登録され、「学術研究データベース・リポジトリ」で検索ができます。

■当財団の概要、応募要領、上記研究成果および助成実績は、ホームページ (<http://www.krf.or.jp>)でご覧いただけます。

平成24年度 助成事業 募集概要

助成趣旨	KRFでは、電気エネルギーの供給・利用技術、電気エネルギーに係る資源リサイクル技術の基礎的、創造的かつ長期的な研究の充実、研究者の育成、国際交流の促進等を図るため、研究に対する助成、国際交流活動に対する助成等を行っております。	
助成分野	エネルギー・リサイクル分野	電気エネルギーの供給・利用技術、電気エネルギーに係る資源リサイクル技術等に関する研究
	総合防災科学分野	被災時における電力供給をはじめとするライフラインの早期復旧に資する研究
申込者の資格	・主として関西地域の大学院・大学の学部、短期大学、高等専門学校、大学附置研究所および大学共同利用機関に勤務する研究者。 (研究者海外渡航および研究成果の出版助成については、研究者に博士後期課程の大学院生を含む。) ・若手奨励研究、研究者海外渡航および研究成果の出版助成については、若手研究者。 (平成25年3月31日において40才以下) ・海外研究者招聘については、国際会議等の招聘責任者。	

助成種類	助成内容	助成期間・時期	1件あたりの助成額	助成件数		申込締切日
				エネルギー・リサイクル分野	総合防災科学分野	
研究助成	研究費の助成 〔若手研究者を対象とした若手奨励研究と年齢制限のない一般研究の2区分〕	研究期間 平成25年4月から1年間	100万円以下	18件程度	3件程度	平成24年8月31日(金)
			100～300万円程度	3件程度	1件程度	
活動助成 国際交流	研究者海外渡航 国際会議、研究発表会等に出席する際の海外渡航費の助成	第1回 平成24年4月～平成24年10月	10～30万円程度	20件程度	2件程度	第1回 平成24年2月29日(水)
		第2回 平成24年10月～平成25年4月				第2回 平成24年7月31日(火)
	海外研究者招聘 国際会議等において研究論文の発表等を行う海外研究者の招聘費の助成	第1回 平成24年4月～平成25年4月	50万円以下	3件程度	2件程度	第1回 平成24年2月29日(水)
		第2回 平成24年10月～平成25年4月				第2回 平成24年7月31日(火)
研究成果の出版助成	内外学術雑誌投稿料等の助成	第1回 平成24年4月～平成25年3月	10万円程度	4件程度	2件程度	第1回 平成24年2月29日(水)
		第2回 平成24年10月～平成25年3月				第2回 平成24年7月31日(火)
研究発表会等の開催助成	研究発表会、シンポジウム、学会および国際会議等の開催費用の助成	第1回 平成24年4月～平成24年10月	20～40万円程度	9件程度	2件程度	第1回 平成24年2月29日(水)
		第2回 平成24年10月～平成25年3月				第2回 平成24年7月31日(火)

申込手続き	お申込の手続きは、当財団ホームページ、e-mail、FAX、電話等で当財団内事務局[池田]までご連絡下さい。折り返し、応募要領、申込書等必要書類をお送りいたします。また、ご希望の方は必要書類(Microsoft Word形式)をe-mailで送信いたします。
-------	---

公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
第21回研究助成申込書
(若手奨励研究)
 (平成24年度募集・選考分)

平成 年 月 日

公益財団法人
 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
 代表理事 石川 博志 殿

申 込 者 ふりがな
 (研究者) 氏 名 _____ 印 (男・女)

生年月日(西暦) 19 年 月 日 (歳)

所属機関名・学部学科名・職名・学位

同上所在地
 〒

電話 () - 内線

FAX () -

e-mail _____

以下のとおり研究助成に申し込みます。

研究題目(全角40字以内)			
助成金申込額	万円	研究期間 平成25年4月 ~ 26年3月	研究種目番号 (科研費細目表参照)
研究のキーワード (全角10字以内)			

本研究助成申込書類は適切であると認め推薦致します。

推薦者 ふりがな
 氏 名 _____ 公印
 所属機関名・職名

同上所在地
 〒

電話 () - 内線

以下、字数が制限されている項目の説明は必ずその範囲内にまとめて下さい。

<p>1. 研究目的・内容</p> <p>(1) 研究目的と経緯（本研究の目的とそれを発想・着想するに至った経緯を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。）（400字以内）</p>
<p>(2) 本研究の内容と特色（期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、および独創性、新奇性、助成趣旨との関連性について記入して下さい。）（800字以内）</p>
<p>(3) 本研究に関する国内・外での研究状況（200字以内）</p>
<p>(4) 本研究の展開（発展性）について（200字以内）</p>

2. 研究計画・方法

(1) 研究目的を達成するための研究計画・方法を、下記「(2)装置の構成」との関係も含めて記入して下さい。また、設備備品費、消耗品費、謝金、旅費等が高額あるいは全体の研究経費に比べその占める割合が高い場合は、その理由を記入して下さい。特に設備備品費については、その購入が本研究の目的達成に必須である理由を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。

(2) 装置の構成（新設と既設がわかるように書いて下さい。）

* 記載例を参考にご記入下さい。

3. 助成金の使途		
本研究に係る全体の予定額	万円、の内、助成金申込額	万円
(申込内訳) : 研究費	万円、 国内旅費・交通費	万円
海外旅費・交通費	万円、 その他	万円
助成金申込金額内訳 (研究計画・内容と助成金の使途との関係に留意して記入して下さい。)		
注: 1) ※海外旅費等の使用は、研究計画の遂行上必要となる外国出張のための経費および外国で使用する経費とします (計上する場合は、余白部にその理由を記載下さい)。 2) 備品等の金額は一式表示をせず、詳細に記入して下さい。		
費 目	内 訳	金額 (千円)
(1) 研究費 (機器備品費、材料費、 実験費、計算機使用料、 分析計測費他)		
	(小計)	
(2) 国内旅費・交通費		
	(小計)	
(3) 海外旅費・交通費※		
	(小計)	
(4) その他		
	(小計)	
	(合計)	
4. 本研究に関する情報		
本研究と関連する助成の有無 : 過去5年間に他の機関から助成金等を受けられた場合、または申請中のものがあれば、 機関と費目(例:○○省○○費)、件名、時期、金額等について記入して下さい(助成申請がない場合は、「無」と記入)。 なお、申請中のものが採択された場合には、速やかにご連絡下さい。		
a. 公的機関		
b. 民間助成財団		
c. 企業他		

5. 略歴および実績

(1) 研究者の略歴（最終学歴、職歴、学位名と取得年月）

(2) 研究者の研究実績

（研究者の当該研究分野に関する過去5年間における主要業績、主要発表論文の表題、著者（共著者を含む。）および発表先を記入して下さい。なお、主要発表論文の内3編以内の写しまたは別刷を添付して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、当該研究の成果に関する資料1編を添付して下さい。資料は原則として返却いたしません。）

注：記載紙面の追加は認められません。

アンケート調査のお願い

この度は、助成申込書の申請をしていただき、有り難うございます。
今後の助成事業の参考にさせていただきますので、アンケート調査にご協力下さい。
助成申込書と併せて送付していただければ幸いです。

1. 当財団の助成公募についてどのようにしてお知りになりましたか。

該当項目に○印をお付け下さい。（複数回答可）

- (1) 学内回覧文書 (2) 学内電子掲示板 (3) ポスター
(4) 雑誌 () (5) 知人・友人からの情報 (6) 検索エンジンまたはネットサーフィン
(7) 学会誌
 ア. 日本物理学会誌 イ. 化学と工業 ウ. 応用物理 エ. システム/制御/情報
 オ. 計測と制御 カ. 電気学会誌 キ. 電子情報通信学会誌 ク. エネルギー・資源
 ケ. 環境資源工学 コ. 電気評論 サ. 機械学会誌
 シ. その他 ()
(8) 財団からのお知らせ (電子メール KRFレポート 新聞記事 など)
(9) その他 ()

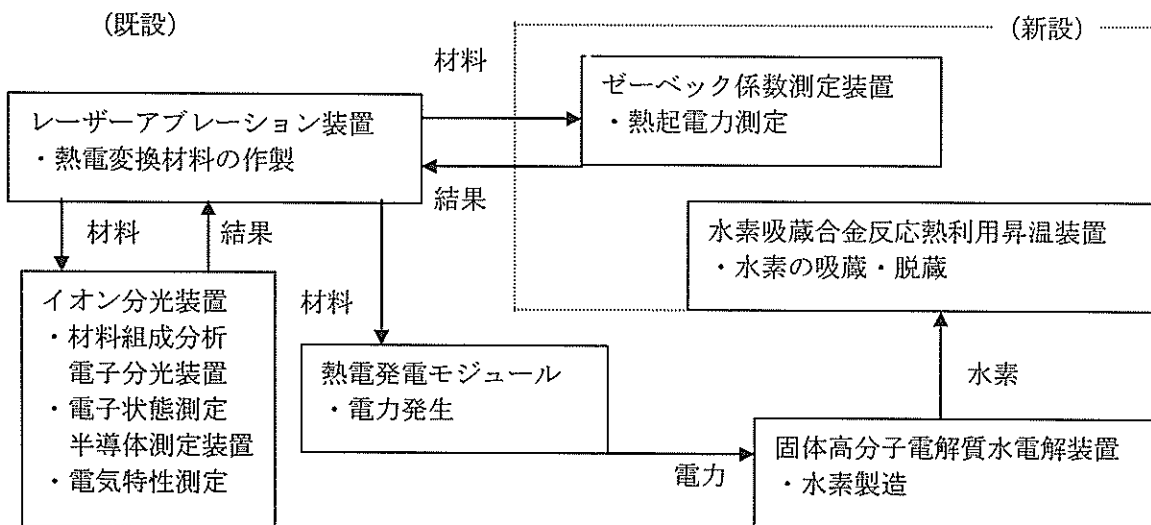
2. 当財団の助成事業につきまして、助成金額や助成件数などお気づきの点、ご要望等をご記入下さい。

2の(2)記載例(応募の際、このページは添付不要です)

2. 研究計画・方法

(1) 研究目的を達成するための研究計画・方法を、下記「(2)装置の構成」との関係も含めて記入して下さい。また、設備備品費、消耗品費、謝金、旅費等が高額あるいは全体の研究経費に比べその占める割合が高い場合は、その理由を記入して下さい。特に設備備品費については、その購入が本研究の目的達成に必須である理由を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。

(2) 装置の構成 (新設と既設がわかるように書いて下さい。)



公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
第21回研究助成申込書
 (一般研究)
 (平成24年度募集・選考分)

平成 年 月 日

公益財団法人
 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
 代表理事 石川 博志 殿

申込者 ふりがな
 (代表研究者) 氏 名 _____ 印 (男・女)

生年月日(西暦) 19 年 月 日 (歳)
 所属機関名・学部学科名・職名・学位

同上所在地
 〒

電話 () - 内線

FAX () -

e-mail _____

以下のとおり研究助成に申し込みます。

研究題目 (全角40字以内)			
助成金申込額	万円	研究期間 平成25年4月 ~ 26年3月	研究種目番号 (科研費細目表参照)
研究のキーワード (全角10字以内)			
主な共同研究者 ふりがな 氏 名 (性別) (年齢)	所属・職名	e-mail	電話 (内線)
() ()			
() ()			
() ()			
() ()			

以下、字数が制限されている項目の説明は必ずその範囲内にまとめて下さい。

1. 研究目的・内容

(1) 研究目的と経緯（本研究の目的とそれを発想・着想するに至った経緯を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。）（400字以内）

(2) 本研究の内容と特色（期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、および独創性、新奇性、助成趣旨との関連性について記入して下さい。）（800字以内）

(3)本研究に関する国内・外での研究状況 (400字以内)

(4)本研究の展開 (発展性) について (400字以内)

(5)本研究で得られる成果は、広くエネルギー・資源リサイクルの分野にどのようなインパクトを与えられると思われますか? 該当する欄の () に○印を記入して下さい。

- a. 得られる成果はエネルギー・資源リサイクル問題解決の基礎としてその価値は大きいと考えるが、具体的に役立つためにはおそらくさらに10年を越える研究が必要であろう。 ()
- b. 得られる成果はエネルギー・資源リサイクル問題解決の基礎研究または開発研究としてその意義は大きく、
- (a) さらに研究を行えば6～10年で具体的に役立つ成果にいたるであろう。 ()
- (b) あと3～5年研究を続行すれば具体的に役立つ成果にいたるであろう。 ()
- (c) あと1・2年研究を続行すれば具体的に役立つ成果にいたるであろう。 ()
- (d) すぐにでも応用可能な筈である。 ()

上のように判断された主な理由を簡単に述べて下さい。

2. 研究計画・方法

(1) 研究目的を達成するための研究計画・方法を、下記「(2)装置の構成」との関係も含めて記入して下さい。また、設備備品費、消耗品費、謝金、旅費等が高額あるいは全体の研究経費に比べその占める割合が高い場合は、その理由を記入して下さい。特に設備備品費については、その購入が本研究の目的達成に必須である理由を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。

(2) 装置の構成（新設と既設がわかるように書いて下さい。）

* 記載例を参考にご記入下さい。

(3) 以上の計画・方法を簡単に流れ図で説明して下さい(実施時期も記入して下さい)。

過去の経緯または
準備状況
(~2013/3)

研究年度
(2013/4~
2014/3)

3. 助成金の使途

本研究に係る全体の予定額	万円、の内、助成金申込額	万円
(申込内訳)：研究費	万円、国内旅費・交通費	万円
海外旅費・交通費	万円、その他	万円

助成金申込金額内訳 (研究計画・内容と助成金の使途との関係に留意して記入して下さい。)

注：1) ※海外旅費等の使用は、研究計画の遂行上必要となる外国出張のための経費および外国で使用する経費とします
(計上する場合は、余白部にその理由を記載下さい)。 2) 備品等の金額は一式表示をせず、詳細に記入して下さい。

費 目	内 訳	金額 (千円)
(1) 研究費 (機器備品費、材料費、 実験費、計算機使用料、 分析計測費他)		
	(小計)	
(2) 国内旅費・交通費		
	(小計)	
(3) 海外旅費・交通費※		
	(小計)	
(4) その他		
	(小計)	
(合計)		

4. 本研究に関する情報 ((i)については、何れかに○を付けて下さい。)

(1) 申請者本人が代表者か、否か (代表者・否 否の場合、代表者名：)
 (2) 本研究と関連する助成の有無： 過去5年間に他の機関から助成金等を受けられた場合、または申請中のものがあれば、
 機関と費目 (例：○○省○○費)、件名、時期、金額等について記入して下さい(助成申請がない場合は、「無」と記入)。
 なお、申請中のものが採択された場合には、速やかにご連絡下さい。

a. 公的機関

b. 民間助成財団

c. 企業他

5. 略歴および実績

(1) 代表研究者の略歴（最終学歴、職歴、学位名と取得年月）

(2) 共同研究者の専門分野および役割分担

(3) 代表研究者の研究実績

（代表研究者または研究グループの当該研究分野に関する過去5年間における主要業績、主要発表論文の表題、著者（共著者を含む。）および発表先を記入して下さい。なお、主要発表論文の内3編以内の写しまたは別刷を添付して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、当該研究の成果に関する資料1編を添付して下さい。資料は原則として返却いたしません。）

注：記載紙面の追加は認められません。

公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
第21回研究助成候補推薦書

平成 年 月 日

公益財団法人
関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団
代表理事 石川 博志 殿

推薦者 ふりがな _____ 公印
氏 名 _____
所属機関名・職名 _____

同上所在地 _____
〒 _____

電話 (_____) _____ 内線 _____

以下のとおり研究助成の候補を推薦します。

代表研究者	ふりがな 氏 名	生年月日 (西暦)	19 年 月 日
	所属機関名		
	職名・専門		
研究題目			
推薦理由			

アンケート調査のお願い

この度は、助成申込書の申請をしていただき、有り難うございます。
今後の助成事業の参考にさせていただきますので、アンケート調査にご協力下さい。
助成申込書と併せて送付していただければ幸いです。

1. 当財団の助成公募についてどのようにしてお知りになりましたか。

該当項目に○印をお付け下さい。（複数回答可）

- (1) 学内回覧文書 (2) 学内電子掲示板 (3) ポスター
(4) 雑誌 () (5) 知人・友人からの情報 (6) 検索エンジンまたはネットサーフィン
(7) 学会誌
ア. 日本物理学会誌 イ. 化学と工業 ウ. 応用物理 エ. システム／制御／情報
オ. 計測と制御 カ. 電気学会誌 キ. 電子情報通信学会誌 ク. エネルギー・資源
ケ. 環境資源工学 コ. 電気評論 サ. 機械学会誌
シ. その他 ()
(8) 財団からのお知らせ (電子メール KRFレポート 新聞記事 など)
(9) その他 ()

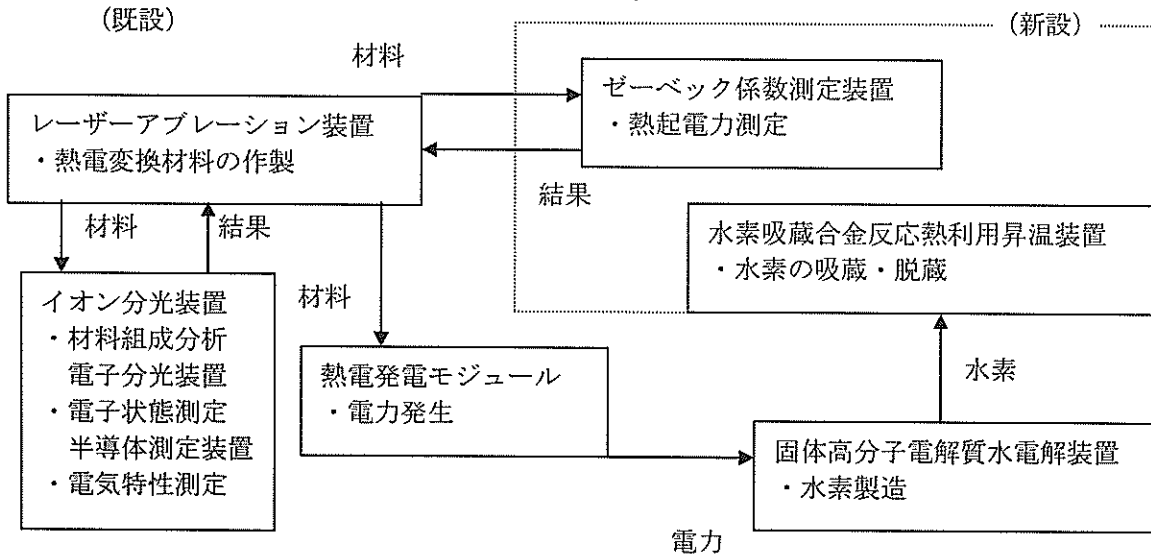
2. 当財団の助成事業につきまして、助成金額や助成件数などお気づきの点、ご要望等をご記入下さい。

2の(2),(3)記載例(応募の際、これ以降のページは添付不要です)

2. 研究計画・方法

(1) 研究目的を達成するための研究計画・方法を、下記「(2)装置の構成」との関係も含めて記入して下さい。また、設備備品費、消耗品費、謝金、旅費等が高額あるいは全体の研究経費に比べその占める割合が高い場合は、その理由を記入して下さい。特に設備備品費については、その購入が本研究の目的達成に必須である理由を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。

(2) 装置の構成 (新設と既設がわかるように書いて下さい。)



(3)以上の計画・方法を簡単に流れ図で説明して下さい(実施時期も記入して下さい)。

